

ジャマイカ便り

第17号 3月

2024 年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024 年度 1 次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子（まぶち もえこ）です。この前、大使館主催の JAPAN FESTIVAL が開催されました！私たち JICA ボランティアは、スタッフとして日本文化を体験できる各ブースを担当し、参加者の皆さんに日本文化を紹介しました。想像以上に多くの参加者が来場していて、改めて日本文化の素晴らしさを実感しました。大使自らの書道パフォーマンスもあり、写真を撮る人がたくさんで、会場は大盛り上がりでした。そして今回は、ジャマイカの面白い文化についてご紹介します。



丸山大使の書道パフォーマンス



浴衣の着付けコーナー

ジャマイカの面白い文化

★ 運転中のクラクションでの挨拶

ジャマイカでは、道路で会った知り合いや友人をクラクションで挨拶することがほとんどです。日本のようにクラクション＝警告ではなく、「ハロー！」「元気？」という軽いコミュニケーションの手段です。町を歩けば、町中からクラクションの音が鳴り響いています。

特にバスや乗り合いタクシー（Route Taxi）では、運転手同士がクラクションで合図を送り合ったり、乗客にアピールしたりすることもあります。これは道路文化の一部で、ジャマイカのフレンドリーでユーモアあふれる国民性を表しているようです。



★ ご近所同士のお裾分け

首都のキングストンで生活していた時にはあまり気づかなかったのですが、田舎や私の任地に行くと、ご近所同士で食べ物をお裾分けしている光景をよく見かけます。

任地での生活が長くなるにつれて近所の方々との会話も増え、「うちでマンゴーがたくさん採れたのよ！」なんて声をかけてもらい、マンゴーをどっさり頂くことも。

ジャマイカでは、一家に一本は当たり前のように果物の木があるので、こうした“果物のお裾分け文化”が自然と根づいているんだろうなあと感じます。なんだか、ゆるくて温かいこの感じがとても好きです。



★ ジャマイカカラーがあちこちにある

ジャマイカに来てまず目に飛び込んでくるのが、町中にあふれる国旗カラーの3色。すれ違う人が「Jamaica」と書かれた帽子やシャツを身につけていたり、家やお店に国旗が飾られていたり、とにかくどこへ行ってもジャマイカらしさが全開です。日本で生活していると、普段の中で日本の国旗を見ることってあまりないです。だからこそ、こうして国旗が日常に溶け込んでいる光景を見ると、「ああ、ジャマイカの人って本当に自分の国が好きなんだなあ」と、その愛国心を肌で感じます。



気づけばもう3月。日本はそろそろ暖かくなってくる頃でしょうか。こちらジャマイカも同じく、日ごとに暑さが増してきて、夏が近づいているのを肌で感じます。そして、もうすぐ待ちに待ったマンゴーの収穫シーズン！道端のマンゴーの木に少しずつ実が付き始めていて、それを見るだけでワクワクしてしまいます。最近では、「もしまたジャマイカに来ることがあったら、絶対マンゴーの季節に来たいなあ」なんて考えながら過ごしています。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。リックルモア！（またね！）